YFA 中体連女子サッカーフェスティバル（報告）

コミュニケーションを図る選手たち

昨年度より実施している「山口県中体連女子育成スクール」の、年間の活動での成長と課題を確認する場、そして、各地で頑張る同年代の仲間を作ることを目的として、標記のフェスティバルを 12 月 10・11 日の２日間、山陽小野田市の「おのサンサッカーパーク」にて開催しました。

初日は鳥取、島根、佐賀、山口の選手約６０名が参加し、全員シャッフルでチームを作り、4vs4、8vs8 のゲームを行いました。他県の選手との交流に最初はぎこちない選手達でしたが、ゲームを繰り返す中で、コミュニケーションをとることができるようになり、最終的には笑顔溢れる初日となりました。近年、コロナ禍で活動も制限され、他県の選手と関わることもほとんどなかった選手達が「楽しかった」「もっとやりたい」「友達ができた」と、サッカーを通して新たな繋がりができ、良い刺激や経験となった様でした。

他県の選手とチームを組んでのゲーム

２日目は、上記の４県に加えて鹿児島のチームが参加し、チーム対抗戦を実施しました。人数の関係上、山口県中体連育成スクールのメンバーは３チーム（他チームと合同２チーム、単独チーム１チーム）に分かれ、ゲームに臨みました。年間で活動しているとはいえ、月に１度の活動のため、連携・連動するのに時間はかかりましたが、その中でも、お互いの状況を見て選択肢（パスコース）を増やすこと、守備の局面でも1st ＤＦの状況を見て、全体で次を狙うイメージを持つこと、などにチャレンジしてほしいと伝えると、ゲームの中でトライする姿があり、参加してくれた選手の意識の高さが伺えました。今回のフェスティバルを通して、日頃の活動とは違った刺激を受け、新たに仲間ができ、サッカーを楽しんでいる姿をあちらこちらで見ることができ、初年度としては大成功でした。

JFA から松田哉コーチが来られました

昨年度から始めているこのスクール。１月からは、新たに中学生となる小学６年生も参加可能にします。本スクールに興味のある女子中学生、４月から中学生になる小学６年生がおりましたら、本協会のホームページに掲載しますので是非ご覧ください。

（文責　山口 FA 女子サッカー普及コーディネーター　平川由美）